

# 事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興
---------	-----------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	学校企画課県立学校改革推進室長 津森 敬次	電話番号	0852-22-6723
----------	-----------------------	------	--------------

事務事業の名称	県立学校の再編成		
目的	(1) 対象	県立学校の児童生徒	
	(2) 意図	高校教育の水準を確保し、魅力と活力ある学校づくりをしていくために、県立学校の適正配置や規模の適正化を行い、望ましい教育環境を確保していく。	
事業概要	高校教育の水準を確保し、魅力と活力ある学校づくりを進めるため、①ある程度通学が可能な広域エリアにおいて統合再編成を行うことにより望ましい学校規模を確保し、②生徒にとって魅力ある教育環境を整え学校の活性化を図るという考え方にに基づき、高校の再編成を進める。		

## 2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	再編成計画の実施率	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		100.00	100.00	100.00	100.00	
式・定義	3～8学級規模の学校数/全学校数		実績値	82.40	82.40	82.40	79.40		%
			達成率		82.40	82.40	79.40		%
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
式・定義			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率		0.00	0.00			%

## 3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	37,722	5,607
うち一般財源(千円)	37,722	5,607

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

県立高等学校再編成計画の統廃合基準に該当する1学年2学級以下の県立高校は7校（全34校、分校を除く）。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

生徒数の減により県全体で2学級の減を実施（H26入試）  
 大社高校佐田分校の閉校（H27. 3）

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

少子化により入学定員の適正化を図る必要があるが、統廃合基準に沿って学校の統廃合を進めることができないため、学級減により対応せざるを得ない状況がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

統廃合基準に該当する多くの学校は、地域コミュニティーや文化的拠点の役割を果たしていたり、地域の活力を引き出している。このため、慎重な判断が求められている。

### ③原因を解消するための「課題」

高校のあり方や学校の活性化方策などについて、各地域における議論が必要である。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

情報提供や地元市町村・関係者等との意見交換を十分かつ慎重に行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

## 9. 追加評価（任意記載）